



平成31年2月8日

各位

トモニホールディングスグループの平成31年3月期第3四半期決算概要について

トモニホールディングス（本社：香川県高松市、社長：中村 武）は、平成31年3月期第3四半期（平成30年4月1日～平成30年12月31日）連結業績等の概要と、当社グループの中核企業である徳島銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：吉岡宏美）、香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：本田典孝）及び大正銀行（本店：大阪府中央区、頭取：吉田雅昭）の単体業績等の概要について発表いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. トモニホールディングス

(1) 平成31年3月期第3四半期（平成30年4月1日～平成30年12月31日）連結業績

当第3四半期における損益状況は、経常収益は、貸出金利息、役員取引等収益及び国債等債券売却益が増加したこと等により、前年同期比1,023百万円増加して55,081百万円となりました。経常費用は、国債等債券売却損が増加したこと等により、前年同期比1,536百万円増加して41,664百万円となりました。その結果、経常利益は、前年同期比513百万円減少して13,417百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比159百万円増加して9,962百万円となりました。

当第3四半期末における主要勘定残高の状況は、総資産残高は、前年度末比391億円増加して3兆8,515億円となり、純資産残高は、前年度末比8億円増加して2,200億円となりました。また、譲渡性預金を含む預金等残高は、前年度末比1,270億円増加して3兆5,267億円、貸出金残高は、前年度末比910億円増加して2兆7,687億円、有価証券残高は、前年度末比871億円減少して6,779億円となりました。

		平成31年3月期 第3四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	55,081百万円	1,023百万円
	経常費用	41,664百万円	1,536百万円
	経常利益	13,417百万円	△513百万円
	親会社株主に帰属する四半期純利益	9,962百万円	159百万円
		平成31年3月期 第3四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	38,515億円	391億円
	純資産	2,200億円	8億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	35,267億円	1,270億円
	貸出金	27,687億円	910億円
	有価証券	6,779億円	△871億円
	自己資本比率（国内基準）	8.90%	△0.07%

(2) 平成31年3月期通期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）連結業績予想

平成30年11月13日公表しております平成31年3月期通期の連結業績予想につきましては、修正ございません。

2. 徳島銀行

(1) 平成31年3月期第3四半期(平成30年4月1日～平成30年12月31日)単体業績

当第3四半期の損益状況は、経常収益は、貸出金利息、有価証券利息配当金及び国債等債券売却益が増加したこと等により、前年同期比915百万円増加して21,559百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、外国為替売買損が増加したものの、資金利益が増加したこと等により、前年同期比780百万円増加して15,763百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、経費が減少したこと等により、前年同期比887百万円増加して5,726百万円となりました。

経常利益は、株式等関係損益が減少したこと等により、前年同期比265百万円減少して5,946百万円となり、四半期純利益は、前年同期比108百万円増加して4,297百万円となりました。

当第3四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年度末比528億円増加して1兆5,483億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比347億円増加して1兆6,506億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みました結果、前年度末比427億円増加して1兆1,077億円となりました。なお、自己資本比率(国内基準)は8.78%となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取組みによる債務者区分のランクアップや不良債権の積極的な回収を図りましたが、前年度末比620百万円増加して18,634百万円、総与信に占める割合は1.65%となりました。

		平成31年3月期 第3四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	21,559百万円	915百万円
	コア業務粗利益	15,763百万円	780百万円
	コア業務純益	5,726百万円	887百万円
	経常利益	5,946百万円	△265百万円
	四半期純利益	4,297百万円	108百万円
	与信関連費用	287百万円	△6百万円
		平成31年3月期 第3四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	16,510億円	△8億円
	預金等(譲渡性預金を含む)	15,483億円	528億円
	総預り資産	16,506億円	347億円
	貸出金	11,077億円	427億円
	有価証券	3,479億円	△775億円
	自己資本比率(国内基準)	8.78%	△0.09%
不良債権	金融再生法開示債権額	18,634百万円	620百万円
	総与信に占める割合	1.65%	△0.01%

3. 香川銀行

(1) 平成31年3月期第3四半期（平成30年4月1日～平成30年12月31日）単体業績

当第3四半期の損益状況は、経常収益は、貸出金利息、役務取引等収益及び株式等売却益が増加したこと等により、前年同期比258百万円増加して21,063百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が減少したこと等により、前年同期比188百万円減少して16,085百万円となりましたが、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、経費が減少したこと等により、前年同期比31百万円増加して5,086百万円となりました。

経常利益は、与信関連費用が増加したものの、前年同期比18百万円増加して6,013百万円となり、四半期純利益は前年同期比261百万円増加して4,638百万円となりました。

当第3四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年度末比641億円増加して1兆5,268億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比579億円増加して1兆6,654億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みました結果、前年度末比387億円増加して1兆2,600億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は9.70%となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取組みによる債務者区分のランクアップや不良債権の積極的な回収を図りました結果、前年度末比473百万円減少して21,481百万円、総与信に占める割合は1.68%となりました。

		平成31年3月期 第3四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	21,063百万円	258百万円
	コア業務粗利益	16,085百万円	△188百万円
	コア業務純益	5,086百万円	31百万円
	経常利益	6,013百万円	18百万円
	四半期純利益	4,638百万円	261百万円
	与信関連費用	324百万円	207百万円
		平成31年3月期 第3四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	16,947億円	275億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	15,268億円	641億円
	総預り資産	16,654億円	579億円
	貸出金	12,600億円	387億円
	有価証券	2,824億円	△49億円
	自己資本比率（国内基準）	9.70%	△0.12%
不良債権	金融再生法開示債権額	21,481百万円	△473百万円
	総与信に占める割合	1.68%	△0.09%

4. 大正銀行

(1) 平成31年3月期第3四半期(平成30年4月1日～平成30年12月31日)単体業績

当第3四半期の損益状況は、経常収益は、貸出金利息、有価証券利息配当金及び役員取引等収益が減少したこと等により、前年同期比233百万円減少して6,910百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が減少したこと等により、前年同期比106百万円減少して5,893百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比90百万円減少して1,183百万円となりました。

経常利益は、与信関連費用が減少したこと等により、前年同期比200百万円増加して1,177百万円となり、四半期純利益は、前年同期比203百万円増加して819百万円となりました。

当第3四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金が増加したこと等により、前年度末比100億円増加して4,756億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比40億円増加して4,906億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取組みました結果、前年度末比102億円増加して4,094億円となりました。なお、自己資本比率(国内基準)は6.18%となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取組みによる債務者区分のランクアップや不良債権の積極的な回収を図りました結果、前年度末比138百万円減少して6,343百万円、総与信に占める割合は1.54%となりました。

		平成31年3月期 第3四半期	前年同期比
損益	経常収益	6,910百万円	△233百万円
	コア業務粗利益	5,893百万円	△106百万円
	コア業務純益	1,183百万円	△90百万円
	経常利益	1,177百万円	200百万円
	四半期純利益	819百万円	203百万円
	与信関連費用	55百万円	△408百万円
		平成31年3月期 第3四半期末	前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	5,239億円	128億円
	預金等(譲渡性預金を含む)	4,756億円	100億円
	総預り資産	4,906億円	40億円
	貸出金	4,094億円	102億円
	有価証券	455億円	△44億円
	自己資本比率(国内基準)	6.18%	0.16%
不良債権	金融再生法開示債権額	6,343百万円	△138百万円
	総与信に占める割合	1.54%	△0.08%

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

トモニホールディングス株式会社 経営企画部
株式会社徳島銀行 企画部
株式会社香川銀行 総合企画部
株式会社大正銀行 企画部

TEL : 087-812-0102
TEL : 088-656-1118
TEL : 087-812-5132
TEL : 06-6205-8400